

団体名: 幸田町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考		
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価					今後の展開・改善点等	
				目標数値	実績数値	達成率	目標数値	実績数値	達成率	総合評価	実施評価	調査結果	満足度	補足	目標①		目標②	
巡回・窓口相談指導事業	経営指導員等の商工会職員が一般的に経営基盤の弱い小規模事業者を中心に事業所へ訪問し、融資等の金融相談・申告時期の税務相談・労務相談等の経営全般に係る様々な相談に対する指導により、企業の経営及び技術の改善が図られ、健全な企業が育成される。このほか、創業も対象とした経営全般に係る相談窓口の設置によって経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数 307社 ・巡回窓口指導延件数 700件 ・課題解決提案件数 20件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 116.7%)	指標 課題解決提案件数 (達成度 100.0%)	経営指導員が中心となり商工会職員が小規模事業者を訪問し、経営全般に係る様々な相談に対応したことで、事業者の課題を掘り起こしから提案指導などを行った結果、経営及び技術の改善に繋がった。	総合評価 A	実施評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	経営改善に資する多様な施策等が展開されるなか、各事業者が活用し、経営力の強化に繋ぐよう全職員体制の巡回窓口指導を行う。	○			
記帳継続指導	商工会の職員が小規模事業者を対象に記帳方法の指導を行うことにより、適正な経理処理や決算、確定申告ができるようになるほか、自計化により経営内容が把握でき、経営力の向上にも結び付ける。	・指導対象者数 100人 ・指導延日数 435日 ・指導延回数 1,121回 ・確定申告受付件数 184件	小規模事業者	指標 記帳指導対象者数 (達成度 111.1%)	指標 確定申告受付件数 (達成度 122.7%)	小規模事業者を対象とした記帳指導を行ったことで、経理事務、決算および確定申告が適正に処理できたほか、自計化による経営の現状把握に繋がったことで、経営力の向上に結び付いた。	総合評価 A	実施評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	①青色申告特別控除の制度変更により国税庁のe-Taxの普及に努める。 ②商工会発行の広報紙やホームページ等に掲載し周知を図る。				
講習会事業	小規模事業者に必要な金融・税務・経営・経理・労働・情報化等の知識を習得させるほか、時事的な問題を周知させることにより、事業者の資質の向上と円滑な事業運営を図る。	講習会開催回数及び受講予定者数 ・集団・11回:82人 ・(内、経営革新1回4人) ・個別・23回:65人 計34回:147人	小規模事業者	指標 講習会等受講者数 (達成度 96.7%)	指標 (達成度 %)	集団、個別の指導により、小規模事業者の経営に資する情報提供と経営力向上に取り組む意欲の醸成を図ることが出来た。	総合評価 A	実施評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	経済社会の動向に対して適宜に確実な情報提供の機会を講じることは必要である為、より多数が参加できる方法を工夫して実施する。	○			
若手後継者等育成事業	町内の小規模事業者(若手経営者・後継者等)を対象に、組織の内外から「安心」「信頼」されるビジネスパートナーとして必要なビジネスマナーや、ビジネスコミュニケーションのツールとして使用するEメール等のマナーを学ぶことにより、ビジネスマインドの醸成と若手経営者等の育成、経営力の向上を目的として本事業を実施する。	(1)若手後継者リーダーセミナーへの参加(2回)・参加人数 青年部3人、女性部2人 (2)経営力向上へつなげるビジネスマナーセミナーの開催(2回開催)・参加人数 各35人 (3)10年先の会社を考える!事業承継セミナーの開催(1回開催)・参加人数 7名	小規模事業者	指標 リーダーセミナー参加人数 (達成度 83.3%)	指標 ビジネスマナーセミナー参加人数 (達成度 58.3%)	(1)経営者としての資質向上が図られた。 (2)新規顧客の獲得、既存客の囲い込みのためのビジネスマナーを切り口にしたコミュニケーション力を習得したことで経営者としての資質向上に繋がった。 (3)円滑な事業承継によるメリットと関連税制の活用法を習得し、今後の経営計画の一助となった。	総合評価 A	実施評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 廃止	目標② 下げる	消費税増税を機に変革が予想される消費活動に対応できる知識および経営力を習得できる機会として実践的な内容で実施する。				
部会事業	商業・工業の各業種に属する会員が、視察研修や経営に関する情報の交換を行うことにより、それぞれの業種及び事業において改善を図る。	商業部会・工業部会合同で年2回視察研修を実施 ・参加人数 計39人	商工会員	指標 部会視察研修会参加数 (達成度 78.0%)	指標 (達成度 %)	商業・工業の各業種に属する会員が、視察研修や経営に関する情報の交換を行ったことで、多様な経営事例の共有化が図られ個社の経営改善に繋がる機会となった。	総合評価 A	実施評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	経営環境が多様に細分化され情報が氾濫する現状において、地域での経済動向に係る情報交換の機会は必要不可欠であり、継続して実施する。	○			
地域振興産業祭事業	幸田町が開催する「産業まつり」において、展示・即売会を行い、地域商店及び地域産業の振興・活性化を図る。	「産業まつり」の会場となる幸田町民会館の周辺において、10事業所が出展し、展示及び即売会を行った。 ・商工会関係出展者 10事業者	商工業者	指標 商工会関係出展者数 (達成度 100.0%)	指標 (達成度 %)	幸田町が開催した「産業まつり」で、展示・即売会を行ったことで、地域商店及び地域産業の振興・活性化が図られた。	総合評価 A	実施評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	引き続き、幸田町主催の「産業まつり」で展示・即売会を行う事で、地域商店および地域産業の振興を図っていく。				

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名: 幸田町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考	
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価					
				指標	数値	実績	指標	数値	実績	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足			目標①
観光振興事業	行政、地域諸団体、住民組織等が協働して「彦左まつり」を開催し、地域社会の活性化と地域経済の振興・発展に寄与する。	彦左まつり(7月29日土曜日幸田駅前沿道にて開催)・仮装行列等 1,300人参加 ・各種団体の屋台出店 ・来場者数 28,000人	参加団体及び駅前地区商業者	指標	来場者数 (達成度 93.3%)	指標	(達成度 %)	行政、地域諸団体、住民組織等が協働して「彦左まつり」を開催したことで、地域社会の活性化と地域経済の振興・発展に寄与することが出来た。台風の影響で順延した為、来場者数が目標達成に至らなかった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法② 現行どおり	行政、地域諸団体、住民組織等と協働し開催し、「彦左まつり」を、地域社会の活性化と地域経済の振興・発展に資する祭りとして認知度を高める。	○
商店街振興事業	平成元年に商店街のイメージアップと町の防犯を目的に建設した街路灯の維持管理及び経理事務を実施する。	年2回電灯料および組合費を徴収し、維持管理を行った。 ・街路灯維持管理本数(83本) ・維持管理事業として96本の街路灯を点検し、経年劣化が著しい街路灯を安全措置として10本撤去した。(他3本は保有事業所事由により別撤去された。)	商工業者	指標	街路灯維持・管理 (達成度 86.5%)	指標	(達成度 %)	商店街のイメージアップと町の防犯を目的に建設した街路灯の維持管理を実施したことで、街路灯の点検とともに経年劣化が著しい街路灯を撤去することで安全性が確保できた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 補足	目標① 下げる	目標② 実施方法① 実施方法② 現行どおり	年2回電灯料および組合費を徴収し、残存する83本の安全を確保を第一に維持管理を行う必要が有る。	
産業活性化事業	地域商店のPR活動、ポイントカード事業及びイベント事業の実施により、地域商店の発展を支援する。	・ポイントカード事業の実施(スタンプ回収数冊2,138冊) ・イベント事業(お祭り)の実施 ・加盟店 28店	商業者	指標	スタンプ回数冊数 (達成度 76.4%)	指標	加盟店数 (達成度 100.0%)	新春イベント開催により、消費者に対してスタンプの収集を促し、満点カードの改修に繋がられた。また、新規加盟店も2店舗加入し組織力強化を図ることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 補足	目標① 下げる	目標② 上げる	①消費者に対する加盟店舗の周知を強化すると共に、加盟店の新規勧誘を継続的に行いスタンプ会の組織強化を図る。 ②スタンプ消費者などにアンケートを行い、データを基に勧誘活動を行う。	
雇用促進事業	中小企業の永年勤続従業員の功績を称えるとともに、今後のさらなる能力向上を期待して、従業員の表彰事業を行う。	通常総代会にて、勤続15年以上は愛知県知事賞、勤続10年以上は幸田町長賞、勤続5年以上は幸田町商工会長賞を授与する。 ・表彰者数 8人	中小企業に勤務する従業員	指標	受賞者数 (達成度 53.3%)	指標	(達成度 %)	中小企業の永年勤続従業員の功績を称えたことで、従業員満足度を向上させ、今後のさらなる能力向上が期待できるようになった。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 C	調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 補足	目標① 下げる	目標② 実施方法① 実施方法② 現行どおり	従業員のモラル及び定着性の向上に繋がる事業なので、今後も事業主に当事業の理解が得られるよう周知を図る。	
労働保険事業	商工会が労働保険事務等を代行することにより、小規模事業者の事務処理を軽減するとともに、労働保険制度の適用促進、保険料の適正徴収を図る。	労働保険料の申告、労働保険料の徴収及び納付、労働保険の諸手続き、労災保険特別加入の申請、雇用保険資格得喪失手続きの代行等を行った。 ・新規委託事業所獲得 10事業所	中小企業等	指標	新規委託事業所獲得 (達成度 200.0%)	指標	(達成度 %)	労働保険事務等の代行を通して、小規模事業者の事務処理負担の軽減化が図られたと同時に労働保険制度の適正な徴収に結び付いた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法② 現行どおり	働き手の減少が懸念される中、労働環境の適正化を図ることで、雇用の維持確保に繋げて行く。	
青年部・女性部事業	イベントへの参加や奉仕活動などを通じて、町民とのふれあい、地域との関わりを持つことにより地域社会の発展に寄与する。また、経営に必要な知識の修得や資質の向上を図るための講習会・研修会・視察等を開催し、小規模企業の振興・発展を図る。	部員増強活動、商工会・行政主催のイベントへの参加、奉仕活動、他商工会青年部との交流、部員間の交流事業、部員の向上を図るための研修会の実施 ・新入部員加入数 青年部3人、女性部3人	青年部・女性部部員	指標	青年部新入部員加入数 (達成度 100.0%)	指標	女性部新入部員加入数 (達成度 100.0%)	地域イベント、親睦会を開催した事により部員相互の交流が促され、組織基盤の強化に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 補足	目標① 現行どおり	目標② 下げる	現青年部員、女性部員に声掛けをしてもらい、各イベントに参加のしやすい環境作りをしていく。	
福利厚生事業	中小企業共済制度、愛知火災共済、特定退職金共済、小規模企業共済、中小企業倒産防止共済等の普及推進を行うことにより、中小企業者の福利厚生の増進及び経営の改善に寄与する。	巡回・窓口相談時に各種共済制度を紹介するほか、商工会報に適宜広告を掲載し、新規加入・増口事業所の獲得と普及推進に努めた。 ・獲得件数75件(内新規70件、増口5件)	商工業者	指標	新規・増口加入数 (達成度 250.0%)	指標	(達成度 %)	各種共済を推進したことで小規模事業者の福利環境整備に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法② 現行どおり	巡回・窓口相談時に各種共済制度を紹介するほか、商工会報に適宜広告を掲載し、新規加入・増口事業所の獲得の為普及推進に全職員が努める。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名: 幸田町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考			
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価					今後の展開・改善点等		
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事実評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標①	目標②	実施方法①
福利厚生事業(ポウリング大会)	会員事業所の従業員等を対象にスポーツ大会を実施し、相互間の親睦融和を図るとともに、従業員等の健康管理と雇用の維持に寄与する。	ポウリング大会 年1回 参加者数56人	会員事業所・従業員等	指標 ポウリング大会参加者数 (達成度 80.0 %)	70	56	指標 (達成度 %)		会員事業所の従業員等を対象に実施したことで、相互の親睦融和を図るとともに、従業員等の健康増進に寄与できた。	総合評価 A	事実評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	会員事業所の従業員等を対象に実施し、従業員満足度と健康増進を図る事業として実施する。	
税務関係団体指導事業(法人会・青色申告会)	中小企業者に対し、健全な納税意識の醸成を図ることで、企業育成と申告納税制度の適正化に寄与する。	・研修会・講習会等の開催 ・幹事会の開催 ・新規会員数 7事業所	商工業者	指標 新規会員数 (達成度 140.0 %)	5	7	指標 (達成度 %)		中小企業者に対し、健全な納税意識の醸成を図ったことで、企業育成と申告納税制度の適正化に寄与できた。	総合評価 A	事実評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	健全な納税意識の醸成を図り、申告納税制度の適正化に寄与することで、企業の社会貢献に資する事業とする。	
産業団体指導事業	各種産業団体に対して、経営改善に関する指導の一環として経営に関するノウハウの情報交換を通して経営環境の整備と向上に資する活動を行うとともに地域の活性化を図る。	額田郡建設業組合 岡崎労働基準協会 異業種交流事業 講習会開催回数 7回、参加者数 94人	小規模建設事業者	指標 講習会参加者数 (達成度 125.3 %)	75	94	指標 (達成度 %)		各種産業団体に対して、経営に関する講習会や情報交換を行ったことで、産業団体の経営環境の整備に資する活動となった。	総合評価 A	事実評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	各種産業団体に対して、経営改善に関する指導の一環とした集団指導を継続的にを行い、地域産業の振興を図る。	
健康普及事業	中小企業、小規模企業の経営の安定及び雇用の維持を図るため、事業主及び従業員の健康診断事業を実施する。	12月上旬より開催 ・事業参加者 115名	小規模事業者	指標 事業の参加者 (達成度 127.8 %)	90	115	指標 (達成度 %)		目標より25名増の受診者数を達成したことから、前年以上に中小企業、小規模企業の雇用の安定に資する事業となった。	総合評価 A	事実評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	労働環境に対する社会的関心が高まる情勢下において雇用安定化に資する当該事業を周知し、より多くの受診者を確保できる体制を整備する。	
商談会事業	幸田町内商工業者の事業拡大の一助として、商談会・情報交換会を開催することにより、各事業所の事業の活性化及び地域経済の活性化を図る。	1月中旬に幸田町民会館にて親睦会を兼ねた商談会・情報交換会を実施 ・参加者数 80名	商工会員	指標 名刺交換会参加者数 (達成度 88.9 %)	90	80	指標 (達成度 %)		幸田町内商工業者間で商談・情報交換を行った事で、各事業所の事業の活性化及び地域経済の活性化に繋がる機会となった。	総合評価 A	事実評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	幸田町内商工業者と地域経済の活性化を図る機会として、より多くの参加者が参加できるよう配慮しながら開催する。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。